

ねあらい
学園だより

浜松市根洗学園
住所：〒433-8108
浜松市北区根洗町667-1
TEL:053-436-9318
FAX:053-436-9326

在籍児 74名(3月18日現在)
◇毎日通園 年長児20名 年中児22名
年少児27名 2歳児5名
◇選択通園 らいおん31名
フレンズ13名 子じか77名
◇親子教室ねあらい 46名



今年度は20名の卒園と38名の進級、20名の転園と進路が決まり、次年度への引き継ぎが行われています。保護者の皆様や関係機関のご理解ご協力のおかげと心より深くお礼申し上げます。

今年度は学園の支援を見直す年となりました。特に家族への支援については、様々な課題を保護者の皆様から頂きました。振替休日や長期休みの過ごし方、転園につながる支援のバリエーションのあり方など、学園の歴史の中で蓄積されてきた“ねあらいルール”を制度等が変わってきた中でより柔軟性を持った対応が必要になってきています。

今、子ども達の引き継ぎを含めた次年度の個別支援計画を作成し、保護者の皆様とも確認をしています。1年前を振り返りながら、子ども達の変化したことの確認や次への課題等成長のスピードや得意な事・チャレンジしたい事を加味しながら未来に向かっての共通確認です。保護者の皆様とは、確認のやり取りの中で、子どものことについては将来を見つめながら今できることを話しているのですが、家族全体としての将来を話すことが少なかったのではないかと反省しております。限られた時間ということもあったのかもしれませんが、兄弟がいる、子育てをサポートしてもらえ環境が様々、地域の中での様子等多様な家庭への支援を考え実行する学園に、次年度は変わってゆきたいと考えています。

幼児期の資源は「家庭で」を暗黙の共通事項になっていることが多く、少ない現状です。しかし、家族だから全てしなければならないではなく出来ることとできないことを区別し、できない事への支援について試行錯誤しながら創りだしていくことの必要性を感じています。学園で出来ること地域の様々な機関と連携しながら出来ることへの模索をしていく為にも、遠慮せずに話していただける環境・仕組みを創って行きますので、各ご家庭の声を聞かせていただけますようお願い致します。

いま、学園では帰りの時間に、卒園式で歌う曲が流れます。「はじめの一步」という曲です。この曲が流れると寂しさも感じるのですが、「～勇気を持って大きく、一歩 歩きだせ～」と歌詞を聞いていると背中を押してもらっているようにも感じます。子ども達それぞれが次に向かって、今年一年の変化や成長をかみしめながら、“はじめの一步”を踏み出せる様つないでいきましょう。

施設長 松本 知子





当面の予定

3月31日（木）通園日 短縮日課（13時30分降園バス出発）です。

新年度ガイダンス 10時30分～12時

年間予定表配布、重要事項説明、利用予定表の提出等、そうの部屋で行います

4月 4日（月）始業式

5日（火）入園式（進級児は休園日です）

6日（水）新入園児療育開始（～12日まで母子通園）

7日（木）避難訓練

8日（金）誕生会、内科検診（きい、もも）

12日（火）内科検診（もも）

26日（火）スキップ（みどり：みどりグループ親子はお弁当）

27日（水）スキップ（きい：きいグループ親子はお弁当）

28日（木）スキップ（もも：ももグループ親子はお弁当）

新年度の持ち物 雑巾1枚、手拭きタオル1枚、ティッシュペーパー1箱、防災頭巾

着替えストック（お子さんの必要に応じて）、上靴、プレイグラウンド用上靴

*持ち物には必ず記名をお願いします。



手づくりクラブ

平成27年度の手づくりクラブは2月までに8回行われ、延べ43名（在園児42名、OB1名）のお母さん方が参加してくださいました。

職員の中で相談し、今年は子どもたちに人気のある「おならローリー」の大型紙芝居を作ってくださいました。さらに、昨年度に作っていただいたガチャガチャの修理やペーパークラフトなどの素敵な作品も作ってくださいました。

3月の誕生会では、完成した作品の中から大型紙芝居を披露していただきました。

熱心にご参加してくださったお母さん方、本当にありがとうございました。

実習ボランティア

今年度も根洗学園に多くの実習生・ボランティアさんが来てくれました。平日の療育だけでなく休日の行事やからあそび等にも参加してくださり、多くの場面で子どもたちと元気にあそんでくれました。「お姉さん！こっちおいで！」など、子ども達から誘い掛け、一緒に楽しくお話ししている姿も見られました。来年度もたくさんの実習生・ボランティアさんとあそび、いろいろな人たちと関わる機会をつくっていただけたら良いですね。

27年度実習生・ボランティアさん延べ人数（外部からの研修含む）

	実習	ボランティア
前期	10	95
後期	14	34
合計	24	129

☆実習生・ボランティアさんの感想☆

・初めてで緊張していたが、子ども達が話しかけて来てくれて楽しく過ごせました。

・子ども達とうまくコミュニケーションが取れるか不安だったが、みんなが笑顔で話しかけて来てくれて、とても楽しく過ごすことが出来た。

☆学園に協力してくださったボランティアさん☆

・聖隷クリストファー大学、浜松大学、浜松学院大学の学生さん ・育成会のみなさん

・ゆうゆう塾さん ・赤とんぼ連さん ・根洗町婦人部のみなさん

たくさんのご協力をありがとうございました。

三方原幼稚園親子交流

今年度の三方原幼稚園親子交流は5回行われ、計25組参加していただきました。幼稚園のお友達と一緒にあそぶことで新しいあそびやことばのやりとりがみられました。外では遊具あそび、色水あそび、ボール運びを行ない、室内では、お店屋さんごっこ、粘土、ブロックやお絵かきを行ないました。また、発表会の歌や楽器演奏を披露してもらい、一緒に歌うことも行いました。初めは、恥ずかしくてお母さんの後ろに隠れていた子も幼稚園のお友達に「一緒にあそぼう」と2、3度声をかけてもらうことで「いいよ」と言い、一緒にあそぶことができました。「交流の時は恥ずかしかったのかやれなかったダンスを家に帰ってから笑顔で躍っている姿を見て交流が楽しかったんだな」と思い、嬉しかったです」とお母さんから感想をいただきました。来年度もたくさんの参加をお待ちしています。



来園交流



今年度は6月8日と11月9日に三方原幼稚園の年長さん18名、2月4日に年中さん32名のお友達が来てくれ、きいGみどりGと一緒に活動を行いました。6月はおもりひっぱりレース、11月は移動式玉入れを行いました。移動式玉入れでは先生が背負ったカゴにボールを入れようと「待てー」と追いかけたり、「先生は後ろにいるよ」と応援する声が聞かれました。2月は2つのグループに分かれてむっくりくまさんと電車ごっこをそれぞれ行いました。初めは先生が幼稚園のお友達に「お名前は？」と聞いている様子を近くで見ていた子ども達も11月の交流では幼稚園のお友達に「何歳？」「何組さん？」と聞く姿が見られるようになりました。2月の交流では「こんにちは」や「一緒に頑張ろうね！」「楽しかったね」などの学園の子ども達から幼稚園のお友達に積極的に声をかける姿が見られました。ことばのやりとりだけでなく、部屋の移動の際に手を繋いで微笑む姿も見られ、学園の子ども達にとって普段とは違ったお友達との関わり方やことばのやりとりを学ぶ機会となりました。今後も幼稚園のお友達とスムーズなことばのやりとりができるよう、職員が間に入って行っていきたいと思います。



平日には全グループを対象に『からだあそび』、土曜日にはきい・みどりグループの希望者を対象に『からだあそび教室』を実施しました。

『からだあそび』ではプレイルームに大きなすべり台・トランポリン・脚立・斜面などを設定してあそびました。大きな遊具に戸惑い、はじめはお友達の様子を眺めていたり、空いているスペースで走り回っていた子も、1年間の活動を通して自分の好きな遊具をみつけたり、“お友達と一緒にあそびたい”という気持ちから遊具へ向かう姿がみられるようになりました。

『からだあそび教室』での遊具あそびの特徴は揺れや高さを経験できること。傾斜がある細長いブランコに登ったり、大人の背より高い場所にあるハンモックで揺れたりしてあそびました。それらが苦手な子は合間にトランポリンやスクーターボード、学園で慣れ親しんだはしごなどで気持ちを整えつつ、先生やお父さん・お母さんと一緒に斜面や高い場所に登れるようにチャレンジしてきました。当初は廊下であそぶことが多かった子も、回を重ねるにつれ遊具であそぶ時間が長くなったり、今までとは違う遊具であそぶ姿がみられるようになりました。遊具の使い方や身体の動かし方を自分で考えられるようになりましたね★

どちらの活動もただ好きな遊具であそんでいるだけのようですが、その“好き”が子ども達の身体の成長につながります。例えば、好きなすべり台であそびたいからすべり台に繋がる苦手な平均台にチャレンジできる子がいます。好きな感覚（あそび）と苦手な感覚（あそび）を組み合わせることで、苦手な感覚（あそび）への抵抗が減少します。そのようにして調整された感覚や運動を土台に食事や着替えの操作やコミュニケーションにつなげていけるよう、今後も子ども達とたくさん身体を動かしてあそんでいきます。



お別れ遠足



ももグループ

ももグループは、“スーパーで買い物→子ども館であそぶ→赤電に乗る”というコースでお別れ遠足に行ってきました。

スーパーでは、お弁当を購入！「どれにする？」「からあげがあるよ」など声を掛け、子どもたちに自分で選ぶよう促すお母さんの姿や、食べたい物を見つけて指を差す子どもの姿を見て、自分で取れるよう子どもを抱き上げる親子の姿が見られました。

お弁当購入後は、子ども館へ！！子どもたちは、さまざまな遊具に興味津々！ボールプールであそんだり、おままごとコーナーで料理をする姿が見られました。また、お父さんが子どもに駒あそびを教える姿も…！お母さんからは、「初めて来たけど、高い所に登れるなんてすごい！」「また家族で来たいな」という声が聞かれました。

スーパーで買ったお弁当を食べたあとは、歩いて新浜松駅へ！赤電を見て指を差しながら「でんしゃ！」と言い、わくわくしている子どもたち！電車の中では、景色を見ながら過ごしたり、疲れて眠ってしまう子もいました。

今年度最後のスキップ。遠足の感想では、親御さんから「1年でできることが増えた」「子どもと1対1の時間は楽しかった」「成長した分、また新たな課題も見えた」などの声が聞かれました。今後、家族で行ってみたよ！など取り組みがありましたら、お話をお待ちしています♪

きいグループ

きいグループは、遠州鉄道浜北駅に集合し、科学館へ。遠州鉄道に初めて乗る子は「赤電乗る！緑電はないの？」と楽しみにしていました。電車内では、友達の隣に座りニコニコ静かに座っている子や「ママ！見て！」と窓の外を指さしたり、読めるようになった平仮名の看板を読んで過ごす子も！科学館では、ボールや音の出るもの、ロケットを飛ばすゲーム、顕微鏡等各々好きなあそびを見つけました。顕微鏡では、お父さんがピントを合わせてくれていると「ぼくもやりたい」と隣の顕微鏡でお父さんの真似をして・・・「見て！見えた！」と嬉しそうにお父さんや職員に見せてくれました。昼食では、みんなが食べ終わるまで待てるようにと、白い紙やノートとペンを持ってきて下さるお母さんやうどんが食べられるようにとメニューを工夫して下さったお母さん。

今回の遠足では、初めての遠州鉄道や科学館にチャレンジし親子で「また科学館あそびに来ようね」や子ども達は「また赤電乗りたい！」等感想が聞かれました。お母さんの工夫と次のステップへの課題が見えた遠足でした。

みどりグループ

学園生活最後の遠足は、電車に乗って美蘭中央公園へ。その後は道頓堀で外食体験を行いました。

美蘭中央公園までは自動車学校前駅と西鹿島駅との二手に分かれて行きました。早く駅に着いた子は、待合室のドアに張り付き往来する電車を見ながら、「これ乗る？まだ？」と電車に乗るのを心待ちにしていました。「電車の中では小さな声でお話するんだよ」とお約束をして、いざ出発！電車内では、お母さんと小声でお話をしたり次々に変わる景色に見入ったりと、電車に乗る際の約束を守って乗ることができました。

美蘭中央公園に着くと、大きなドラム缶式のすべり台やツリー状のネットなど沢山の遊具を見て大興奮の子ども達。リュックを降ろすと一目散に遊具へと走っていきました。今回の遠足では、お母さん方も子ども達と一緒に遊具であそびました。初めは子ども達同士のペースであそんでいましたが、次第に「ママー！早くー！」と呼びかける子ども達の姿が見られ、お友達ともお母さんとも楽しい時間を沢山共有することができました。

その後は待ちに待った道頓堀。注文したお好み焼きの具材を混ぜたり、焼けたお好み焼きにソースを塗ったりと、「自分で作って食べる」経験ができました。鉄板の上のお好み焼きがひっくり返ると「お～！」と歓声を上げる子の姿がとても印象的でした。

今回の遠足では親子で電車で出かけるのが初めてというご家族もあり、「また電車でお出かけしようと思う」という感想も頂きました。お別れ遠足での経験をもとに、今後も様々な社会経験を積んでいけるといいですね！

きいグループ にじいろクラブ

2月27日、最後のにじいろクラブは、こども館に行きました。昨年のお別れ遠足で行ったこども館、今回は、友達と一緒に高いところにもどんどん上っていく姿や、「一緒にやろう」とお友達を誘って行う姿、順番を待つ姿などみられました。親御さんからは、“お友達と楽しくあそべました”“自分から遊具に向かっていくことができました”という感想も聞かれ、昨年と比べて、子ども達それぞれの成長を感じられる機会となりました。参加をいただいたご家族のみなさまありがとうございました。

ももグループ にじいろクラブ

3月12日に都田総合公園に行き、アスレチックとそり滑りを楽しみました。

そり滑りでは、お母さんたちから「こっちがハートです」との声が漏れるほど子どもたちは繰り返し滑っていました。

アスレチックでは、細いロープの遊具を前に、足を震わせていた子が、友達の様子を見ながら、一步踏み出し、二、三步進むと“できる”と確信したようで渡りきりました。それを見ていたお父さん、お母さんからは「すごい」との声が聞かれました。また、ローラー滑り台では、「お父さんも一緒に」と子どもがリクエストすると、一緒に滑ってくれて「お尻が痛いなー」とお子さんと話す姿が見られました。

参加されたご家族の方からは、「こんなにあそべるようになったのは驚き！」や「公園に行ってもチャレンジできる遊具が増えた」などの声が聞かれて、あそびを通してお子さんの成長を感じられる機会となりました。



文房具を頂きました！



学園たより1月号にも掲載しましたサンヨークリーニングさんより、再び文房具を頂きました。前回頂いた画用紙や絵の具などに加え、今回はスクラップブック等のノートや色紙、たこ糸などです。自由あそびや造形で活用したり、らいおんや子じか、学童も含め学園を利用している友達みんなで大切に活用していきます。



中コースのバスが変わります！

現在中コースを走っている、グロリア号が3月18日をもちまして、走り納めとなりました。14年3カ月間、現在走っているグロリア号にお世話になりました。全走行距離は234,095kmです。3月22日からは新しいグロリア号が中コースを走ります。今後とも、安全運転でバスを運行していきます。よろしくお願いします。



